

全私保連保育運動
新しい時代は
子どもから

保護者の皆様へ 私たちが伝えたい7つのメッセージ



今回のメッセージは……

その2 子ども「遊び」を 守りましょう

赤ちゃんの行動に、自分の手やものを口に入れる行為があります。それは、赤ちゃんにとって遊びの一つと考えられています。その「遊び」は、赤ちゃんが生きていくうえでたくさん感覚を学ぶ大切な行為となります。

「遊び」という行為は、年齢を重ねるごとに一人遊びから集団の遊びへ変化していきます。例えば、雪が降った時に、雪を一生懸命に手に載せようとする手に触れた瞬間に溶けていくでしょう。不思議に感じて、何度も雪を手に乗せることを繰り返していくと楽しくなる。その後、まわりの友だちにも不思議さの共感を求めることで「遊び」が発展していきます。

このように乳幼児期に経験したすべての「遊び」は、「学びの芽ばえ」から「自覚的な学び」へとつながる大切なものなのです。

現在の私たち大人は、テレビやポータブル機器で子どもたちに動画などを観せることで、子どもたちの成長よりも、おとなしくなり手が



からなくなることを優先しがちになっているように感じます。もちろん子どもたちに動画等を観せることで新しい喜びを感じ、そこで学ぶことも多くあると思います。しかし、乳幼児期は五感が極めて発達する時期です。動き回って

からなくなることを優先しがちになっているように感じます。もちろん子どもたちに動画等を観せることで新しい喜びを感じ、そこで学ぶことも多くあると思います。しかし、乳幼児期は五感が極めて発達する時期です。動き回って

実際にものに触れたり、匂いを嗅いだり、音を聴いたりすることを優先して、大切にしてほしいと思います。

遊んで服を汚してしまったり、思う通りにならずに泣いてしまったり、少しケガをしたりと子育て中は大変なことの連続だと思えます。けれども、子どもたちの「やってみよう」を大切にすることが、子どもたちの将来の生きていく力に必ずつながります。

おままごと、電車遊びも、子ども自身の意思で好きな遊びを創作し没頭する。それは、大人が必要以上に干渉するべきことではなく、ただ遊びの機会を保障することが大事なのです。何をするのか、誰とどうやって遊ぶのかは、子ども自身が考えます。「遊び」の中では子どもたちの道徳心さえも育っていくものだと思います。

今も、これから先も、子どもたちに実際に触れるものや見えるもの、子どもたちが感じるすべてのものが、子どもたちの未来をつくります。そのために私たちは、子どもの「遊び」を守らなければならないし、守ることが大切だと思つたのです。

新しい時代は子どもから

～子どもの今が未来を創る～



公社)全国私立保育連盟は、未来を生きていく子どもたちの為に
社会へ向けて、7つのメッセージを送ります。

あおむし通信

<https://www.zenshihoren.or.jp/>



新しい時代は子どもから

<https://undou.zenshihoren.or.jp/>



全私保連
公式 YouTube チャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCy3LvUSg5wmwIXdA0RkkJXA>



公益社団法人
全国私立保育連盟

*この2ページをコピーして、保護者の皆様へ配布をお願いします。